

身近な下水道の情報誌

あお

みずうみ

碧い湖

令和7年春号

No.66

P.2～P.3 … げすいとぴっくす

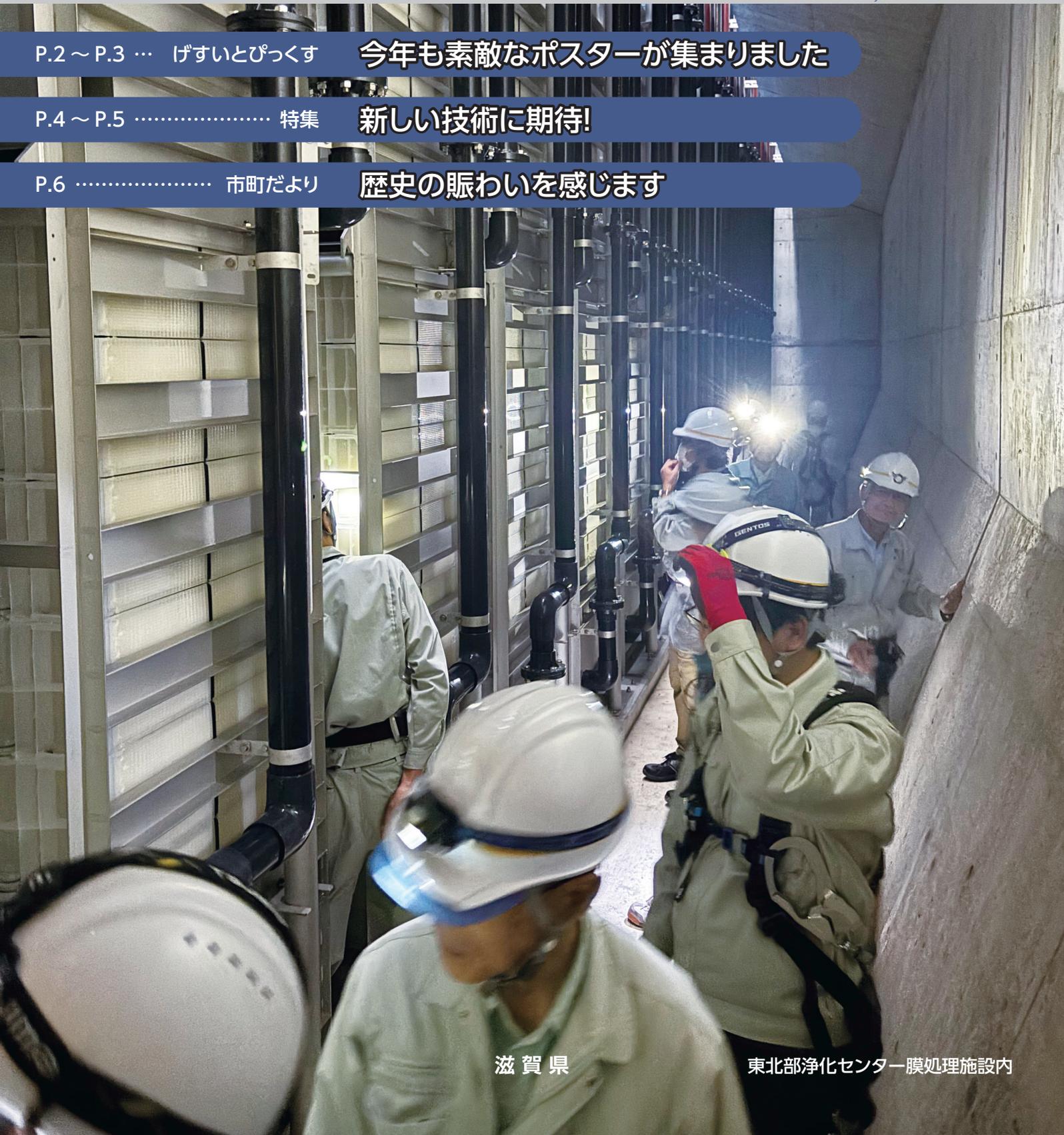
今年も素敵なポスターが集まりました

P.4～P.5 …………… 特集

新しい技術に期待!

P.6 …………… 市町だより

歴史の賑わいを感じます



滋賀県

東北部浄化センター膜処理施設内

第31回「よりよい水環境づくり」ポスターコンクールが開催されました！

琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質保全など水についての重要性を認識してもらうことを目的として、水環境への想いを描いたポスターコンクールが開催されました。県内の小中学校から219作品の応募がありました。その中から受賞されました作品をご紹介します。

滋賀県知事賞



大津市立膳所小学校 3年生
堀池 陽斗さん



竜王町立竜王西小学校 4年生
村居 幸湖さん



守山市立守山北中学校 2年生
宇野 まゆかさん

滋賀県教育委員会 教育長賞



近江八幡市立八幡小学校 3年生
小林 美葵さん



竜王町立竜王西小学校 6年生
寺田 亜実さん



守山市立守山北中学校 3年生
松本 野希さん

(公財)淡海環境 保全財団理事長賞



大津市立膳所小学校 2年生
岡本 環さん



近江八幡市立島小学校 4年生
森 駿人さん



彦根市立西中学校 3年生
武田 結良さん

草津市長賞



竜王町立竜王西小学校 2年生
國岡 菜子さん



近江八幡市立八幡小学校 6年生
小野田 紀さん



近江八幡市立八幡西中学校 2年生
キハラフェルナンデス英怜奈さん

草津市教育委員会 教育長賞



大津市立膳所小学校 3年生
堀池 結斗さん



近江八幡市立老蘇小学校 5年生
山根 煌藍さん



守山市立守山北中学校 2年生
横山 翔大さん

e-radio賞



竜王町立竜王西小学校 3年生
日高 煌斗さん

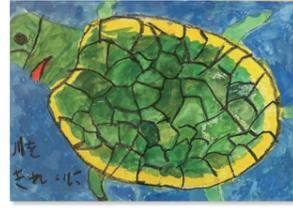


竜王町立竜王西小学校 6年生
日高 愛菜さん



守山市立守山北中学校 3年生
泉内 菜々恵さん

びわこ環境 ぴかり賞



近江八幡市立島小学校 2年生
藤崎 奏多さん



大津市立仰木小学校 4年生
上田 千花さん



守山市立守山北中学校 1年生
片岡 蒼佑さん

ぺんてる株式会社賞



近江八幡市立老蘇小学校 3年生
國領 歩さん



大津市立膳所小学校 5年生
大塚 風実さん



守山市立守山北中学校 2年生
若井 美月さん

あいおいニッセイ 同和損害保険 株式会社賞



大津市立膳所小学校 2年生
芝原 菜月さん



近江八幡市立八幡小学校 4年生
香川 凜さん



守山市立守山北中学校 1年生
齋藤 優多さん

日本メンテナンス エンジニアリング 株式会社賞



近江八幡市立八幡小学校 3年生
今江 香乃さん



近江八幡市立島小学校 5年生
力武 紗彩さん



守山市立守山北中学校 3年生
浅田 奈々羽さん

特集

「下水道事業の新しい展開」～東北部浄化センターで新しい水処理方式の施設を建設しています!

◆ < 新施設建設の経緯 >

- ◇ 東北部浄化センターでは令和元年度から新たな水処理施設の建設を進めています。
- ◇ 東北部浄化センターの処理区域では農業集落排水施設から下水道へ水処理の切替えを順次行っており、将来的に浄化センターへの流入水量の増加が見込まれます。処理能力の向上とあわせ、施設の老朽化による更新に備える必要があることから、新たな水処理施設が必要となりました。



新しい水処理施設の建設の様子

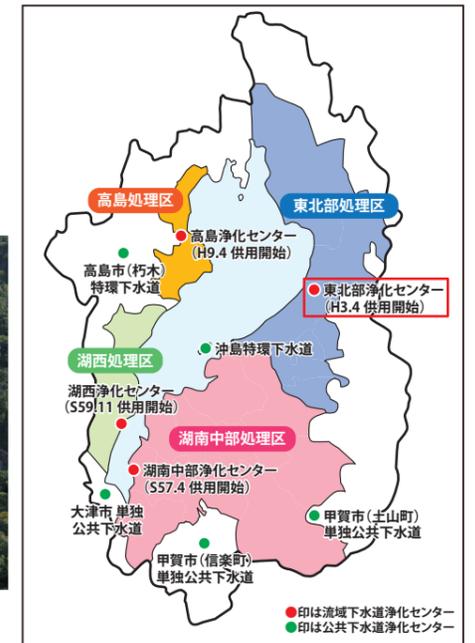
◆ < 新しい水処理方式の導入 >

- ◇ 新施設に導入する水処理技術は MBR^{*} (膜分離活性汚泥法) という限られたスペースでも効率的に窒素除去が可能な処理法で、全国でもまだ事例の少ない最新の処理方法です。
- ◇ 東北部浄化センターでは琵琶湖の水質保全のため、全国と比べ排水基準を非常に厳しくしています。この基準をクリアする施設を従来の処理方法で建設しようとすると広大な用地が必要になります。
- ◇ この課題を解決するため、MBR を導入することとしました。今回、この MBR の施設をご紹介します!

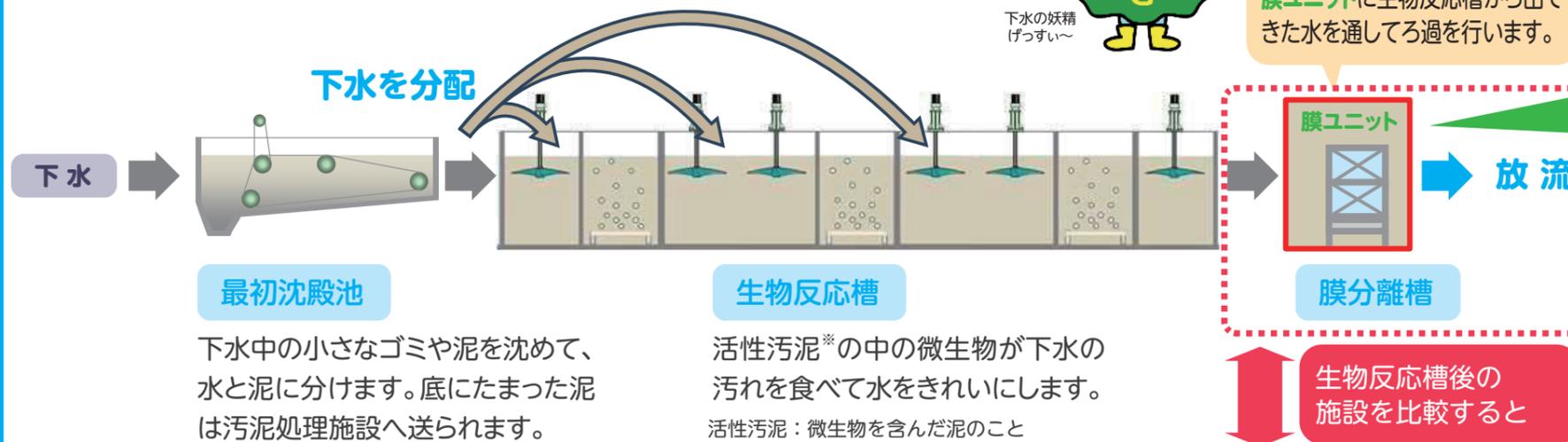
MBR : Membrane Bioreactor の略



東北部浄化センター



新しい水処理施設



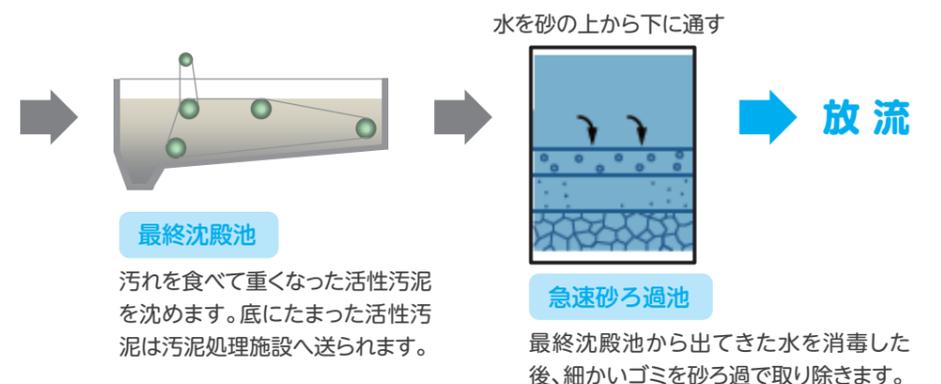
従来の水処理施設 (一部)

MBRの導入により、従来の水処理施設と比べて約半分程度の大きさにすることができます。

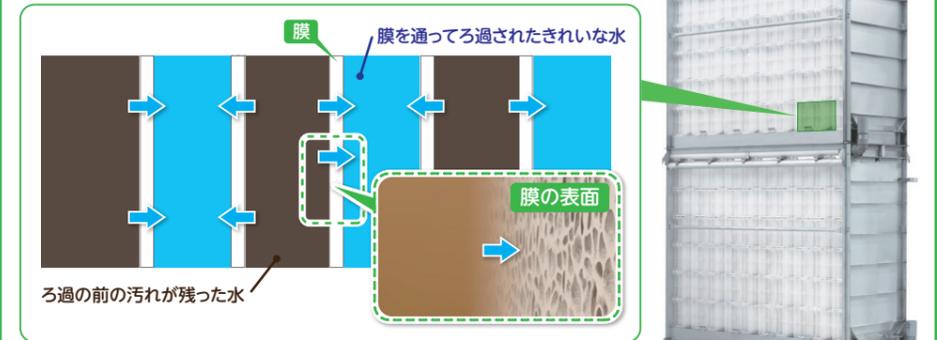


水処理施設がよりコンパクトになります

MBRの導入により従来の水処理で生物反応槽の下流に設置する右の二つの施設が不要になりました。



膜ユニットについて



膜分離槽の様子



膜分離槽は普段は水が入っている所だけど、建設中だから中に入れてみたよ

[膜によるろ過により]

- ・細かい活性汚泥など浮遊物質を除去 ⇒ 最終沈殿池と急速砂ろ過池が不要
- ・活性汚泥に吸着されたウィルスや大腸菌も除去

膜ユニット

今問題となっているマイクロプラスチックも高い割合で除去できるんだ



写真のように東北部浄化センターの敷地の周りには山のため、新たな処理施設を建設する際に山を切り開く必要がありますが、省スペースな MBR を導入することで開発する面積を少なくでき、自然環境への影響を最小限にできました。

令和7年度の供用開始の予定です。供用されましたら、また、お知らせします!





歴史と自然が交差する街 長浜市

羽柴秀吉が初めて城持ち大名となって開いた城下町、長浜。

江戸時代には大通寺の門前町や北国街道の宿場として栄え、現在でもその町並みを活かしたガラス工芸のショップや工房のほか、郷土料理が楽しめるお店などが軒を連ねて賑わっています。その近くには、長浜城歴史博物館や慶雲館などがあります。

市街地の周辺には、姉川古戦場や小谷城跡、賤ヶ岳古戦場など数多くの戦国ゆかりの史跡が今も残っています。豊かな自然に囲まれた、歴史を感じることができる長浜へぜひお越しください。



【長浜城歴史博物館】

秀吉が築城した名城「長浜城」。現在は城を模した歴史博物館が建てられ、秀吉ゆかりの品をはじめ、戦国や江戸期の貴重な資料が展示されています。



【慶雲館(長浜盆梅展)】

明治天皇を迎えるための迎賓館として建てられました。その庭園は国の名勝に指定されているほか、長浜の冬の名物である「長浜盆梅展」の会場になっています。



【小谷城戦国歴史資料館】

浅井家と織田家の壮絶な戦いの舞台。館内の展示では、小谷城とその城主であった浅井家の歴史について解説しています。

長浜市の下水道

長浜市における下水道事業は、公共下水道と地区毎の農業集落排水処理で進めてきました。令和5年度末には普及率が99.8%（公共下水道85.6%、農業集落排水14.2%）を超え、管路整備がほぼ完了していますが、施設の老朽化や農業集落排水施設の公共下水道への接続等の新たな課題も発生しています。

こうした課題を整理し、令和20年度を目標とした下水道事業に関する取り組み方針を示す「第2次長浜市下水道ビジョン」を令和5年度に策定し、持続可能な下水道事業の実現を目指しています。

(長浜市下水道施設課)

① バラ園一般公開&施設見学会 2025 春 (湖西浄化センター)

【開催時期】

令和7年5月21日(水)から6月1日(日)まで

9時～16時30分まで(入場は16時まで)

無料駐車場(約40台)もあります。

- 湖西浄化センターのバラ園の一般公開(入場無料)を行います。場内には約90種700株のバラが咲きます。
- また、この公開期間中の土曜日・日曜日に「施設見学会」を開催しますので、浄化センターで水がきれいになる過程や汚泥が炭化物(燃料)になる施設を見学できます。

(午前および午後各1回開催、所要時間は40分程度)

★施設見学会参加者には、滋賀県流域下水道マンホールカードを特別にプレゼントします。

詳細は、県ホームページやチラシを通して皆様にお知らせします。



バラ園の様子



見学会の様子

お問い合わせ先

湖西浄化センター

〒520-0102 大津市苗鹿三丁目1番1号

TEL : 077-579-4611

ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ryuikigesui/nanburyuuiqi/>



② 夏休み親子見学会

(湖南中部浄化センター、東北部浄化センター)

【開催時期】

令和7年7月下旬から8月上旬頃(予定)

●小学生対象(保護者同伴)

- 浄化センターの見学や水をきれいにする微生物の観察、水の汚れを調べる実験などを通して、浄化センターのしくみを勉強することができます。

★親子見学会参加者には、滋賀県流域下水道マンホールカードを特別にプレゼントします。

詳細は県ホームページやチラシを通して皆様にお知らせします。



昨年の様子

お問い合わせ先

滋賀県南部流域下水道事務所

湖南中部浄化センター TEL : 077-564-1901

ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ryuikigesui/nanburyuuiqi/>



滋賀県北部流域下水道事務所

東北部浄化センター TEL : 0749-26-6634

ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ryuikigesui/hokuburyuuiqi/>



プラザ ミニ コーナー

下水道の普及啓発に色々取り組んでいます！



ビジネスマッチング(ベトナム)
(淡海環境プラザ)



「おうみっ肥」配布
(まいばら親子エコステーション)



小学生への環境学習支援
(淡海環境プラザ)



下水道工法体験
(けんせつつみらいフェスタ)

公益財団法人 淡海環境保全財団は、本広報誌(碧い湖)の編集の他、下水道普及啓発イベントへの出展や、下水汚泥コンポスト「おうみっ肥」の配布など、皆さんに下水道について楽しく分かり易くお伝えできるよう、様々な所で活動しています。

2024年には、左の各写真のイベントへの出展や啓発などに取り組みました。また、2025年の夏にはインテックス大阪で開催される「下水道展'25大阪」に出展予定です。また、イベントなどで見かけられましたら、ぜひお立ち寄りください。

お問い合わせ

公益財団法人 淡海環境保全財団

淡海環境プラザ担当 TEL : 077-569-5306

【プラザホームページ】

<https://www.ohmi.or.jp/plaza/>



プラザホームページへ！



下の表の5つの黄色のマスの文字を並べ替えると、今回の記事で使われていることばになります。さて何でしょうか？

1	2	3	4		5	6	7
8				9		10	
11				12	13		
14			15		16	17	
			18				
19		20			21		22
		23		24			
25						26	

☆☆☆タテのカギ☆☆☆

- 【タテ1】 日本の淡水湖で唯一人が住んでいる島。
- 【タテ2】 ほっぺが赤いインコ。
- 【タテ3】 ○○○○地方。砂丘があったり、温泉があったり。
- 【タテ4】 和あり、洋あり、駄あり。
- 【タテ6】 飛んでいるのをよく見かけますが、なかなか捕まえられません。
- 【タテ7】 固い殻の中に緑の実が入っています。御堂筋にもたくさん落ちています。美味。
- 【タテ9】 真っ暗で何も見えない。
- 【タテ13】 スクリーンや映像、音響など進化しています。
- 【タテ15】 いろいろな味の鮓が缶に入っていたのを覚えています。
- 【タテ17】 秋の味覚、近年、漁獲量が気になります。
- 【タテ19】 建物、車などの表面に施します。
- 【タテ20】 最初は小さなものですが、たくさん植えて森を育てましょう。
- 【タテ22】 2本のスティックで打ち鳴らします。
- 【タテ24】 フィルターなどを通して固形物などを取り除きます。家庭の浄水器も水を○○しています。

☆☆☆ヨコのカギ☆☆☆

- 【ヨコ1】 いよいよ、ここで万博が開催されます。
- 【ヨコ5】 【タテ4】の1種であんこで包まれています。
- 【ヨコ8】 煙をモクモク出して走ります。一度は乗ってみたい。
- 【ヨコ10】 日本の通貨。
- 【ヨコ11】 一人一人には与えられた役割があります。
- 【ヨコ12】 実際以上によく見せようとする態度。○○っ張り。
- 【ヨコ14】 心。精神。意識。体も大切ですが、○○○○もいたわりましょう。
- 【ヨコ16】 胃液の主成分の一つ。多く出すぎると胃痛の原因になります。
- 【ヨコ18】 近くなのに見えないことはありませんか？
- 【ヨコ19】 いつも夏のようなこと。○○○○のハワイ。
- 【ヨコ21】 古民家のキッチンで使っていたりします。お米が美味しく炊けます。
- 【ヨコ23】 料理の際の戦闘服。
- 【ヨコ25】 月で餅をついています。
- 【ヨコ26】 治水や利水、発電のために水を貯める施設。

★抽選で図書カードが当たる!★

◇応募方法

官製はがきに、「答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、本誌の入手場所、本誌に対する評価点(100点満点中)、ご意見・ご感想」を記入し、

〒525-0066 草津市矢橋町字帰帆2108番地
公益財団法人 淡海環境保全財団
淡海環境プラザ担当

までお送りください。正解者の中から抽選で10名様に図書カード(500円分)を差し上げます。

締め切りは2025年6月30日(消印有効)です。

正解は次号(No.67)にて発表します。

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

なお、前号(No.65)の正解は「アオイミズウミ」でした。

また前号の評価点は、平均点93点でした。

読者の声(第65号)

江戸の町人の水の使い方を読んで、水を無駄使いせず大切にしようと思いました。

(草津市 39歳)

→現代のような輸入がなかった江戸時代の暮らしから資源を大切に使う思想やアイデアをみることが出来ます。現代においても皆さんと一緒に持続可能な社会の構築について考え、取り組んでいければと思います。

滋賀県に住んでいて下水道のことを書いた機関誌を初めて知りました。汚泥肥料が全国に広まります様に頑張ってください。

(湖南市 53歳)

→この度、本誌を手にとっていただきありがとうございます。汚泥肥料の製造や販売などについて、新しい展開がありましたら本誌などで紹介していきたいと思えます。

イラストや写真があって分かりやすかったです。学校の校外学習で湖南中部浄化センターに行きました。下水のことを詳しく教えてもらってうれしかったです。次も楽しみにしています。

(東近江市 10歳)

→湖南中部浄化センターでの学習を喜んでもらえてうれしいです。そのすぐ近くに下水道や琵琶湖の環境について紹介している「淡海環境プラザ」もありますので近くに来られた時は来てみてください。

■ 編集後記 ■

今回特集にある「よりよい水環境づくり」ポスターコンクールでは219の応募がありました。219の作品一つ一つに作者の水環境への思いがあることに思いを巡らせました。一人一人が自分の置かれている場所で自分の賜物を活かして具体的な取り組みを展開し、時には壁を乗り越えたり、他者と調整しながら他の命のために用いられていく。そんな一人一人の歩みに期待して少しでも何かきっかけや参考となるような情報を発信していければと考えています。

「碧い湖」は下水道について県民のみなさんに知っていただくため、年2回発行しています。

県内の各機関、市町役場、図書館、銀行、病院等に置いています。次号(2025年9月発行予定)もぜひご覧ください。

発行所 滋賀県琵琶湖環境部下水道課
〒520-8577
大津市京町四丁目1番1号



抽選の応募、記事についてのお問い合わせ
〒525-0066 草津市矢橋町字帰帆2108番地
公益財団法人 淡海環境保全財団
淡海環境プラザ担当
TEL : 077-569-5306
FAX : 077-569-5334



この印刷物は古紙パルプを配合しています。針がねを使わない環境にやさしい印刷物です。